

# デジタル機器修理 宅急便で

宅配便最大のヤマトホールディングスはデジタルカメラやプリンターなどデジタル機器の修理事業に参入する。まず月内に首都圏を始め、二〇一〇年度に大阪、二二年度には札幌や福岡市などの地方都市にも修理拠点を設置する。「宅急便」

## ヤマトHD ▶

の配送網を活用。消費者から壊れた製品を回収し、最短三日間で修理して自宅に届ける。宅配事業が頭打ちになる中、新たな収益源に育てる。新事業の「メンテナンスサポートサービス」は、壊れた製品を宅急便のドライバーが回収。茨城県土浦市に約四十億円を投じて整備した専用拠点を修理し、消費者宅に配送する。料金はメーカーが修理する場合とほぼ同じ。

## 最短3日、月内に

た製品を預かり、メーカーに回収を依頼するのが一般的。ただ回収から修理まで一週間以上かかることも多かった。今後、製品を修理して長く使い続ける人が増える。首都圏に続き、大阪や札幌などにも拠点を整備。薄型テレビなども対応。販売後のサポート体制が不十分な外資系メーカーの需要も見込む。間取扱個数が初めてマイナスになった。